

相模原市民の歌

相模原市民の歌は、市民が普段の生活や集団活動の中で、明るく楽しくうたえる「市民の歌」をつくり、これをとおして愛市の精神をもちたてるため、昭和33年に製作されました。歌詞は、全国に公募した結果、植村栄輔さんの歌詞が選ばれ、勝承夫さんが補作、平井康三郎さんが作曲を行い、同年の成人式で発表されました。

また、当歌は市制50周年を記念して製作されたCD「相模原市の歌集」内に収録されており、市内の行事等で活用され、多くの方々に愛されています。

相模原市民の歌 歌詞

作詞 植村 栄輔
補作 勝 承夫
作編曲 平井 康三郎

1. 柴胡の原の音より
希望輝く相模原
代々の恵みを地にうけて
幸あるわれら寄るところ
光が招く明日が呼ぶ
2. 突りの波は野に丘に
夢も燃えたつ相模原
青雲高く生産の
平和のけむりたつところ
建設の歌わきあがる
3. ながれは清くゆうゆうと
絵巻はひらく相模原
季節のいろをちりばめて
文化の花の咲くところ
われらがまちに栄あれ